

聖書は何を 教えているか

2023年10月1日



1

アウトライン

1. 聖書の始まりと終わり（6つの対応）
天地創造で始まり新しい天地創造で終わる
2. 新しい天地は、やり直しではない
3. 聖書の始まりと終わりの間

（続く）

2

アウトライン

4. 中心地エルサレム、対立するバビロン
5. 異邦人の時におけるエルサレム
6. メシアの王国におけるエルサレム
7. 天のエルサレム

3

1. 聖書の始まりと終わり



4

創世記の始まり

1. 初めに神が天と地を創造された
2. 地は茫漠として何もなく（何らかの原因）
3. 天地の再生と人の創造、エデンの園
4. 人の墮落と「女の子孫」の預言
5. 水のさばき（大洪水）
6. バビロン（バベルの塔）

5

黙示録の終わり

1. バビロンが2回倒れるという宣言
2. 火のさばき（七つの鉢のさばき）
3. 反キリストを火の池、サタンをアビスに
4. 【天地の再生と】人の再創造、千年王国
5. 悪魔は火と硫黄の池に投げ込まれた
6. 新しい天と新しい地

6

6つの対応 その1

初めに神が天と地を創造された



新しい天と新しい地

以前の天と以前の地は過ぎ去り、海もない

7

6つの対応 その2

地は茫漠として何もなく（何らかの原因）



悪魔は火と硫黄の池に投げ込まれた
（原因であった悪魔の問題を最終解決）

8

6つの対応 その3

天地の再生と人の創造、エデンの園



【天地の再生と】人の再創造、千年王国
（再創造 = 第一の復活による栄化の完成）
（千年王国は、旧約預言では、新天新地）

9

6つの対応 その4

人の墮落と「女の子孫」の預言
女の子孫 VS 反キリスト、サタン



反キリストを火の池に、サタンをアビスに
（預言の成就）

10

6つの対応 その5

水のさばき（ノアの洪水）
悪霊との雑婚で暴虐が満ちた人類に



火のさばき（七つの鉢のさばき）
反キリストと彼に従う人類に

11

6つの対応 その6

人類最初の都 バビロン建設（バベルの塔）



バビロンが2回倒れるという宣言
«千年王国では悪霊の場所（黙18：2）»

12

2. 新しい天地は、やり直しではない

- ・天のエルサレムが、新しい地の上に
- ・神が人々とともに住む
- ・神の御座には、神と子羊（キリスト）がおられる
- ・キリストの名の一つは、「インマヌエル」

13

3. 聖書の始まりと終わりの間

- ・一人の人を選んで、
神の民イスラエルを育てる
- ・アブラハム契約の3つの約束
土地の約束・子孫の約束 ⇒

復活信仰
救いの祝福

祝福の約束

14

神の民イスラエルとキリスト

- ・イスラエルに、聖書を記録保持させる
- ・旧約聖書によって、キリストを予告する
- ・民の中から、キリストを生まれさせる
- ・民の中から、キリストの証人を立てる

15

4. 中心地エルサレム、対立するバビロン

バビロン

ニムロデが建設
神に対する反抗・バベルの塔
4つの覇権国すべての首都
大患難期での2つの役割

16

中心地エルサレム

アブラハム = モリヤの山
モーセ = 主が選ばれる場所
ダビデ = 要害シオンの北
オルナンの打ち場
ソロモン = 神殿建設の山

17

5. 異邦人の時におけるエルサレム ①

バビロニア エルサレム破壊、バビロン捕囚
ペルシア 帰還命令、しかし支配は続く
ギリシア、そしてローマ帝国による支配
«ローマの平和 — キリストの登場»

18

5. 異邦人の時におけるエルサレム ②

紀元70年、ローマ軍による**エルサレム破壊**
 紀元135年、バル・コクバの乱 **世界離散**
 現代、そして将来のエルサレム

19

6. メシアの王国におけるエルサレム

信仰あるイスラエルの帰還
 地形の変化
 豊かな自然
 平和と正義をもたらす政治体制

20

7. 天のエルサレム ①

- ・私たちの国籍は天にある
- ・神が設計し建設した都
- ・アブラハムが憧れていた都

21

7. 天のエルサレム ②

- ・私たちの住まいは、その中に用意される
- ・用意できたら、キリストが迎えに来る



大患難期（7年）・メシアの王国（千年）

22

7. 天のエルサレム ③

新しい地の上に
 天のエルサレムが降り立つ

神が人とともに住まわれる
 もはや死は、ない

23